

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 安 住

**目標達成計画書**

作成日: 平成 27 年 03 月 14 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践	理念を開設時に作成して13年が経過し、理念を理解していない職員もいるので、開設時を思い出し、理念の意義を理解してもらい、仲良く元気に暮らせるように取り組んでいく。	理念は、ホームが目指す介護サービスであるので、時には、職員間で唱和したり、理念の意義を意識することで、介護に対する対応が整い、利用者が安心して介護サービスを受けられるように取り組んでいく。	12ヶ月
2	4	運営推進会議を生かした取り組み	各委員の日程調整がつかないので、現在は年4回の開催であり、隔年毎の調査にするためには、地域包括支援センターからの参加や、年6回の開催が義務付けられているので、今後の検討課題としていく。	参加委員を有識者、地権者、複数の民生委員、薬剤師等から募り、会議に新しい風を送り、内容を充実させて、参加委員にとっても、有意義な会議になるように工夫し、年6回実施できるように取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。